

幾代会観察会（2025年1月）のまとめ

“一の滝樹木調査と看板設置の確認”

ポイント：幾代会設置の完成看板を見よう！

◆日時：2025年1月12日（日）

◆集合場所：一の滝階段上

集合時間：9:50

◆散策ルート：

一の滝 → お昼、十割ソバ梅の内

八坂神社（一の滝源流遙拝所） → 即清寺

◆所持品：お昼代、防寒対策、観察用具

◆参加者：池田（ゲスト）、太田、梅田、中部、平、櫻井、越前（計7名）



◆一の滝看板設置の経緯

①2024年12月（令和6年） 看板設置（幾代会）

施工業者 （株）美巧社

②2022年3月（令和4年） 東京都の補助金を申請園路完成（青梅市）

施工業者 （有）未来ガーデン

③2020年（令和2年） 青梅市に観光化出来ないか幾代会で打診

④2017年 (平成 29 年) 吉野梅郷の無名の滝をネット上で見つける

◆一の滝を観光化出来た波及効果

- ①ユーチューブやブログなどネット上に多数掲載
- ②青梅市観光協会のホームページに掲載
- ③青梅市のマップに掲載(2024 年)
- ④梅まつりリーフレットにモデルコースの中に掲載

◆より良い周知のために出来ること

- ①梅樹の植栽
- ②もよりの駐車場からの案内板の設置
- ③看板西側のエリアに駐車場の設置
- ⑤写真スポットの設置
- ⑥自然観察会等のツアーの実施
- ⑦梅樹の看板設置(30 枚前後設置済み)
- ⑧不法投棄看板の移動(2025 年青梅市清掃リサイクル課に依頼済み)
- ⑨飲食店との一の滝メニューの協働開発
例:一の滝御膳・一の滝ラーメン・一の滝かき氷等

◆観察会の内容

まず設置出来た念願の一の滝の看板をジックリ読む。

お披露目の記念にテプラテープ製の施工年月日と施工業者の名前を看板の柱にビッチリ添付。

散歩を楽しんでいる男性に記念撮影をお願いし、快く引き受けて戴いた。

階段を降りて一の滝の自然環境の説明。

土地利用や植生、植物の生育状況では多摩川は西側(上流側の渓谷ではケヤキなどの渓畔林が繁茂し岸壁にはユキヤナギ、ウラハグサ、イワギボウシ、が生育しています。

川幅が徐々に広く成り砂礫質の河川敷が現れてくると下流側の長淵、河辺、友田、辺りではツルヨシ、オギ、ススキやハリエンジュやオオブタクサなどの河畔林が生えてきます。

一の滝一帯は紅葉の綺麗なシラキ、トチノキ、ケヤキ、イタヤカエデ等の渓畔林が広がり一部は杉や檜も植栽され孟宗竹が侵入。

一の滝は落差が10m有りこれは、地殻の変動などにより、岩に割れ目ができ、地震などによって何らかのずれが生じた事により段差ができたと考えられます。水源と

なる三室山からの山上から流れ込んだ土砂が明王沢を経由し、長い年月を掛けて、この地域の基盤となる砂岩や頁岩(けつがん)の岩肌・川井層を滑らかに浸食し、散在するチャートなども押し流しながら、滝口に至り、水量が多い時は一気に溜まつた土砂を滝壺へと流し込んでいます。その流れは優雅な斜瀑で80mほど岩の間を流れて多摩川の大聖院淵に注いでいます。

最近、ジオにはまっている会員のN氏より上総総群やチャートの説明を受ける。
一の滝の岩盤の上で記念の紅梅饅頭のおやつを皆で味わう。

大聖院の境内西側で咲きそろうソシンロウバイとマンケツソウロウバイの花弁の形や大きさの違いをじっくりと観察。

岐阜市八、石坂亮、中村政弘、吉原崇夫、西内体育部副部長の皆さん

お不動様遙拝所 八坂神社境内に完成

11月27日（日）、お不動様遙拝所が完成し、これを祝う式典が開催されました。

祭典委員会・専用水道組合など建設に関わった関係者が出席する中、榎田宮司により、祭神である俱利迦羅不動の拓本が神棚に入れられ、ご神体は無事遙拝所に移されました。

以下、式典当日披露された資料の全文を転載します。

遙拝宮（中央）とご神体

お不動様遙拝所
祭神 俱利迦羅不動
八坂神社前方を流れる天

娘、この水源にお不動様（俱利迦羅不動）がある。

かつては千戻の年「村民此處ニ來テ滝壺ヲ掃除スル時ハ必ズ雨降ルト云ヘリ」

と伝えられ、昭和十三年四月夫婦岩直下に上郷一同で石碑を建立し、水源の守護神として祀られてきた。

水源の切り立った岩壁にて台座を設置し、完成させたものです。

遙拝宮は19組の梶野嘉穂さんから寄進され、屋根を銅板葺きにして上で10組の鈴木勝さんのが主体となつて台座を設置し、完成させたものです。

お不動様遙拝所建設委員会

梅郷六丁目祭典委員会
上郷専用水道組合
上郷生産森林組合

令和四年十一月吉日

断崖の上に建つお不動様石碑

10月22日地鎮祭の様子

引き続き境内の陽で暖まった石垣に腰を下ろし一の滝の源流 夫婦沢に祀って有る俱利迦羅龍王や水の神の説明。梅郷 6 丁目では水源の守護神として祀って来たが催事場付近が危険なため鎮守様である八坂神社に遙拝所を建立した。

(上郷新聞より転載)



ランチは近くの手打ちそば梅の内さんで豪華な十割そば天盛に舌鼓を打ち、久しぶりの親睦。楽しいミニ新年会ですね！！

◆まとめ

会員の皆様のお陰で幾代会を一年間、継続出来一の滝に看板を設置することができました。青梅市に新たな観光スポットが生まれ、一緒にお披露目が出来て本当に生きていられて良かったです。記載した「より良い周知のために出来ること」は次に繋げて更に実施していかれれば

と切願します。



【一の滝の看板前で記念撮影】

(2025, 1, 13越前記)